

会議概要

件 名	令和4年度新潟市花育推進委員会（第1回）	
日 時	令和5年3月28日（木）午前10時～午前11時半	
場 所	市役所ふるまち庁舎4階 403会議室	
出席者	委 員	阿部委員、北澤委員、玉木委員、中野節子委員、中野優委員、村井委員
	事務局	【食と花の推進課】吉田課長、佐藤係長、加藤主査、渡邊職員
概 要	<p>1 開会あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>（1）令和3年度 花育推進事業の取り組みについて【資料1-1～3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1-1～3に基づき、事務局が令和3年度の花育推進事業の取り組みについて説明を行った。 <p>（2）令和4年度 花育推進事業の取り組みについて【資料2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2に基づき、事務局が第2次花育推進計画の数値指標の実績値の推移と、令和4年度の花育推進事業について新規の取り組みを中心に説明を行った。 <p>【主なご意見・質問等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスについて、特に影響を受けた、あるいは影響を受けていない取り組みはあるか。 <ul style="list-style-type: none"> →資料2の「2 食育・花育センターの花育関連講座の受講者数」、「5 花育団体体験プログラムの実施団体数」、「6 保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率」、「9 新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数」はコロナ禍の影響が大きかった。小学生や園児が団体にバスを利用して移動することや、園・学校での花育活動に地域の人を呼ぶことを控える傾向があった。バスツアーについては定員を上回る応募があったがコロナ禍で定員を絞らなければならなかった。 ・来年度以降はバスツアーの定員を半分にするなど制限をなくす形で進めるか。 <ul style="list-style-type: none"> →バスツアーは費用対効果を含めて検討する。 ・小合地区の小中学校では、地域の生産者や園芸、花育マスターがボランティアで子どもたちの花に関する教育をしている。小合小学校は1年生から6年生まで花育をしていて、1年生を高学年が教え、高学年を花育マスターが教えている。地域の産業と未来につながる、地域を自慢できるような講座内容にしている。 ・秋葉区のバスツアーに立ち上げ時から関わっているが定員20人のところに150人集まるほど盛況で、行政では限界があるため民間の旅行者に話をしていたがコロナ禍で動けなくなっていた。費用対効果の面からも行政ではなく民間が取り組むとよいと思う。 <p>（3）今後の花育推進について【資料3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3に基づき、事務局が今後の花育推進について説明を行った。 	

【主なご意見・質問等】

- ・食育・花育センターで行われる花育体験の講座に専門学校として学生が協力するが、参加する子どもたちが将来、花の道のプロを目指すような体験にして、花育活動のすそ野を広げるといった目的とあわせてもう一つの目標として設定してよいか。
→食育・花育センターの団体体験プログラムに植物博士検定などがあるが、平日に学校単位でバスに乗ってきての体験で、一般の休日に来館する子どもたちに向けてはものづくりが多いため、提案のような内容でセンターに何度も通うようになるといい。
- ・アンケート結果の新潟市が花の生産が盛んであることを知っている割合は低いと思う。「新潟チューリップ日本一」「切り花日本一」などをチラシや体験の案内など目にするところにロゴとして入れると手軽に市民にPRできるのではないかと。学校へのPRも、先生方に「生産日本一」を子どもたちに話すように依頼文書に入れるなどしてシビックプライドの醸成につなげるといい。
→食育・花育推進キャラクターの「まいかちゃん」の活用としてロゴを付けて色々なところに登場させることは可能であり、取り組んでいく。
- ・食育と花育は何とつながるか考えると環境、産業、農業、子ども、きれいなまち、未来とつながる。例えば環境と花とか、きれいなまちと花とか、農業と花など、何かと花をセットにすると新潟らしいのではないかと。福祉と花に取り組んで半年経つがうまくいっている。学校の先生や地域の方が何かと花という意識をもって活動すると広がるのではないかと。思う。
- ・行政はアピールが弱いため、G7の取り組みも市や県だけでなく全国レベルのメディアにもアピールして日本一のチューリップの産地というのぼり旗が移るといい。
- ・小須戸は日本一のボケということを小学校で皆が習うため、ボケは日本一という意識がある。地道な努力の結果であり、SNSなどの情報発信も大事だと思う。
- ・中央卸売市場で花の卸売をしているが、食もあり花もあり魚もあるため、一般の人向けのイベントなどを増やしていいのではないかと。思っている。

3 その他

4 閉会

傍 聴 0人

報 道 なし